



奈良東大寺へ「お米送り」

お田植え式

福井市南東に位置し、三方を山並みに囲まれた自然豊かな上文殊地区。

平地が広がり、良質な米どころであるこの地区で、5月18日、奈良市の東大寺へ米を献上する「お米送り」の田植えが献上田で行われ、上文殊小学校の4～6年生を中心に約30人が参加しました。

この事業は、同地区に奈良時代に「糞置荘（くそおきのしょう）」という東大寺の荘園があった史実をまちづくりに生かそうと平成11年から続けているものです。児童らは、地区の歴史を継承するため、平成27年に啓新高校生がデザインした古代衣装を身にまとい、素足で水田に入ると、梓回しで植える位置に印を付けた後、約千㎡の水田にコシヒカリの苗を手で植えていきました。「足がとられる」「ヒルがいる」などと歓声を上げながらも、時間がたつにつれ「楽しい」との声が多く聞こえ、皆田植えを満喫した様子でした。

秋の収穫の際には、お田植えに参加した児童らによる鎌での手刈りや天日干しが予定されており、収穫したお米は10月15日に東大寺の「大仏さま秋の祭り」の日に奉納するほか、地区内での行事の際ににぎりにして来場者にふるまわれます。

令和元年度
定期総会
協議会
開催

令和元年5月31日、東村新一福井市長を来賓に迎え、令和元年度定期総会を開催しました。

本総会では、「令和元年度福井市農業委員会事業計画」を決定したほか、「平成30年度福井市農業委員会の活動実績」について報告を行いました。

また、市村武男委員(第4区・社地区)、浅川健次委員(第5区・棗地区)、廣部厚委員(第7区・清水西地区)の3名の参与の任期が満了となり、新たな参与3名が決定しました。



▲令和元年度定期総会にて挨拶する
東村市長 (写真中央)

定期総会閉会后に引き続き開催した協議会では、農地利用最適化推進委員も加わり、「農地等の利用の最適化の推進に関する指針の進捗状況」について協議が行われました。

新役員紹介(敬称略)



参与

第2区 東藤島地区

小寺 辰夫

平成26年から農業委員として活動してまいりましたが、まだまだ未熟な上、厳しい農業事情の中、参与の大役を仰せつかり身の引き締まる思いです。

人口減少社会の中、農業担い手の減少、高齢化、耕作放棄地の増大、農産物の価格低下など問題が山積みしておりますが、一つでも良くなるよう精一杯努めてまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



参与

第3区 酒生地区

加藤 新市

このたび参与に選任されました。近年の農業の課題として、『後継者がいない』『耕作条件の悪い農地は借り手がない』

『農業に魅力がない』『獣害により収入減』など『ないもの』づくし。結果、耕作放棄地が拡大するという悪循環です。
「ないもの」から「あるもの」を模索してまいりたいものです。微力ですが、事業計画にも位置づけられている地域の強みを活かし活力ある農業を維持するため、最適な農地の活用推進に努めてまいります。



参与

第5区 大安寺地区

北 定

このたびの役員改選により参与に選任いただきました。激動の農業変革時の委員役員として責任の重大さを痛感しているところです。

今日の農業・農村地域は、従業者の減少・高齢化による労働力低下、耕作放棄地の増加傾向の中、米政策の見直しやT P P 推進など大きな変革を迎えております。地域現場での農業委員の果たす役割は益々重要であります。

新たな農業委員会制度で着実な成果が出せるよう、中間管理機構等関係機関と連携・協力しながら現場を見据え、支援する委員会として取り組んでまいりたいと思っております。よろしくお願ひします。

スマート農業で 変わる農業①

杉本知事GPS田植え機体験

5月17日に、福井市下中町の農事組合法人フライン・ファーム・しもなかの水田で、ふくいブランド米推進協議会の企画により、福井の新ブランド米「いちほまれ」の田植えが行われました。

最新技術を活用したスマート農業を推進するため、農機メーカーの協力で、GPS（衛星利用測位システム）を使ってハンドル操作をしなくても自動で直進する田植え機が用意され、杉本達治福井県知事や福井農林高校生らが田植えを体験しました。

自動で直進走行するため、ハンドル操作をせずに苗や肥料を補充できるなど作業の効率化につながることから、田植え機の操縦を体験した杉本知事は、スマー

ト農業により、今一番問題となっている人手不足を解消できる。これからもこのような取組をどんどん進めていかなければならないし、県としても一生懸命応援していく。

平地の広い農地を耕作している農事組合法人を企業が技術でサポートすることでスマート農業の導入が難しいとされている中山間地も一緒に耕作することなどが求められる。また担い手への耕作委託の相談も進めながら、家族的な経営のバ



▲ 手を離しても自動で直進する田植え機で田植えする杉本知事

ックアップについても、県として取り組んでいきたい。と話しました。

田植え後には、いちほまれの試食会もあり、福井特産のみわかめ、ジンジャーえのき等とともに、参加者にふるまわれました。



▲ 参加者にふるまわれるいちほまれ

スマート農業で

変わる農業②

ドローン防除

【農事組合法人印田】

農事組合法人印田では、同法人が管理する印田町の田 22 haのうち、麦を作っている田 8 haでドローンによる防除を行っています。4月に2回、防除作業を行ったとのことで、同法人理事長で岡保地区の農業委員を務める鈴木肇さんと同法人のドローン取扱責任者の前田成人さんにお話を伺いました。

Q ドローンによる防除は今回が初めてのことですが、導入のきっかけを教えてください。

A これまでは動力散粉機を担いで、30mほどのホースを伸ばして引っ張りながら防除を行っていましたが、高齢化により、重いものを担ぐのがつらいと

いう声が多くなったことがドローン導入の理由です。



▲ 麦畑の農薬散布に挑む前田さん

Q ドローンを操縦するには免許などが必要なのでしょうか。また、その操縦はどのように習得されましたか。

A ドローンの操縦には免許は必要ありません。私はラジコンの趣味があり、ドローンの操縦方法によく似ているのでどこかで操縦を習ったことはないです。今回使用したドローンはGPS(衛

星利用測位システム)付きなので、始点と、100m先のUターンする地点を登録すると、始点からUターン地点まで飛んで行き、Uターン地点に到達すると5m横にずれてUターンし戻って来て、また5m横にずれてUターンするのを繰り返して自動飛行できるので、四角の圃場であれば特別な操縦スキルは必要ありません。

Q ドローンにより、どれくらい作業は省力化・効率化されましたか。

A 今回使用したドローンは、農薬10Lを搭載し、約10分で1ha散布できるものです。ドローンは、風が強いと使えない、気温が低いとバッテリーの持ちが悪いなど、天候に左右される部分があります。天候が良ければ、農薬の補充やバッテリーの交換時間を含めても8haを2、3時間もあれば防除することができます。ドローンを使用する前は、同じ面積に農薬を撒くのに、3人で約半日かかっていました。

ドローンによる農薬散布は、操縦する人と、100m先でドローンがUターンする場所を確認する人、オペレーター

の横で次の農薬の準備等をする人の3人で行いますが、作業としては主に農薬やバッテリーの交換だけなので、以前より大変楽になりました。

Q 今後の課題はありますか。

A 課題はドローンの使用は気象条件に左右されることと、もう少し高性能なバッテリーがあつたらいいな、というくらいです。

また、ドローンで農薬を散布するには国土交通省の事前の許可と実施後の作業報告書の提出が必要なのですが、手続きの規制緩和が進むといいと思います。

Q 今後の目標を教えてください。

A 今回は麦の防除にドローンを使いましたが、今後は大豆や野菜の防除にも使っていきたいと思っています。また、ドローンを持っていない他の町内で散布依頼があれば、防除に協力させていただきます。

さらに、今回ドローンを導入した理由は、組合員も高齢者が多くなり、動

力散粉機を担いで行っていた農薬散布が体力的にきつくなってきたのがきっかけです。高齢化はどことも同じだと思いますので、できるだけ若い人に引き継いでいかなければならないと思います。そのためにも若い人が農業に入ってきてやすいように、積極的にAI導入やGPS搭載の農機具など先進的なものを導入して、なるべく作業を省力化し、さらには規模拡大を目指しつつ後継者の育成に努めていきたいです。



▲ 麦畑に農薬を散布するドローン

事務局だより

平成31年4月1日付けで、次のとおり定期人事異動がありました。

入

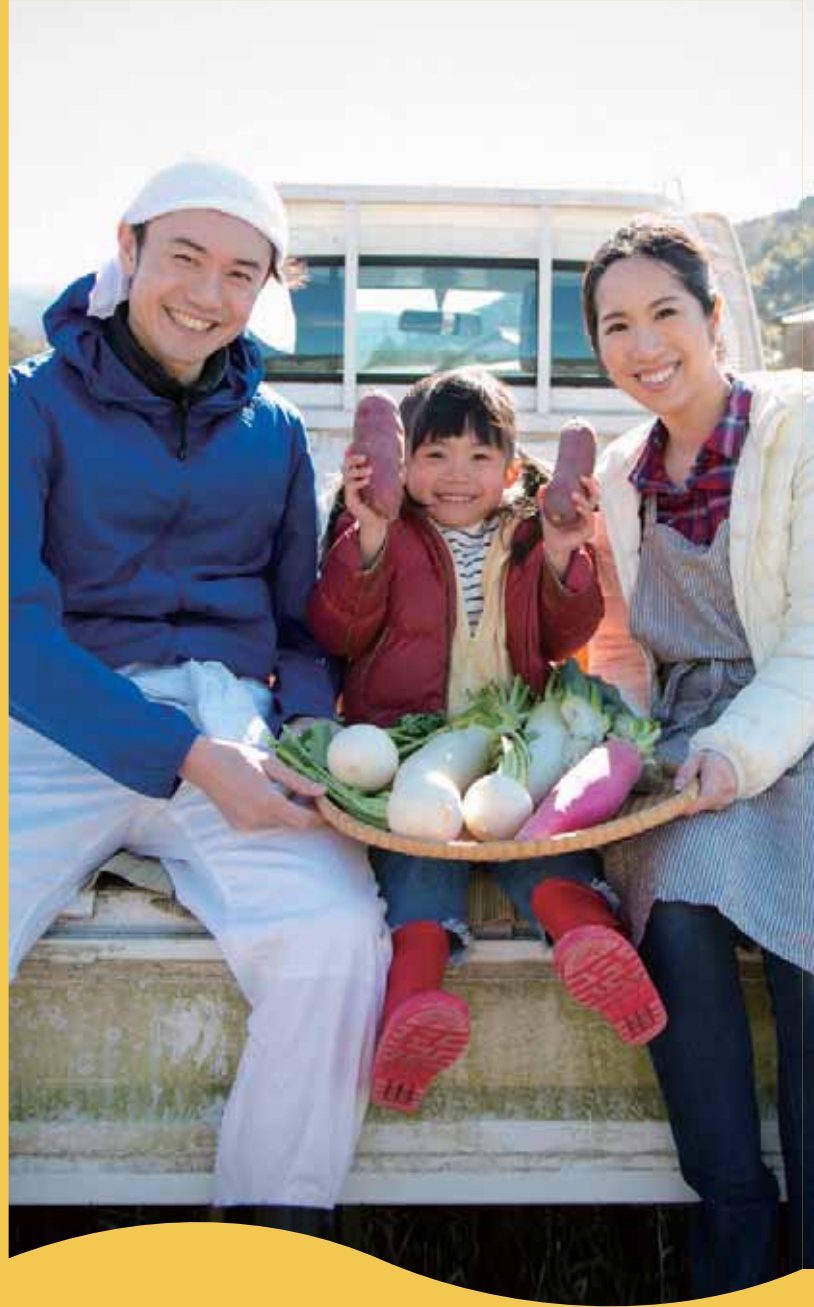
局長 岩崎 裕美子	国体推進部から
課長補佐 東野 尚樹	福祉保健部 福祉事務所 子育て支援課から
岸 美帆	総務部 文書法制課から
前田 大貴	都市戦略部 地域交通課から
下山 博幸	再任用
藤田 純一	再任用

出

前局長 大谷 康二	総務部 未来づくり推進局 女性活躍促進課へ(再任用)
前課長補佐 高間 紀英	福祉保健部 福祉事務所 障がい福祉課へ
藤田 収	総務部 未来づくり推進局 清水総合支所へ
富平 一博	福祉保健部 福祉事務所 子育て支援課へ
田中 忠夫	市民生活部 市民課 殿下連絡所へ(再任用)
中川 英男	退職

終身年金で
安心!

農業者年金 知って得する



農業者の方は、国民年金の上乗せの
公的な年金「**農業者年金**」に加入して
安心して豊かな老後を!

ポイント

1 農業者なら誰でも入れる「**終身年金**」です!

ポイント

2 一定の要件を満たす方には、
月額最大 **1万円の保険料補助**

ポイント

3 加入で大きな節税効果!
保険料は **全額社会保険料控除の対象**

詳しくは...

農業者年金基金

検索

<https://www.nounen.go.jp>



ポイント

1の説明

農業者なら誰でも入れる「終身年金」です!

年間60日以上農業に従事し、国民年金第1号被保険者(保険料免除者を除く。)である60歳未満の方が加入できます。

高齢農家世帯の家計費は、月額約23~24万円というデータがあります。

国民年金の支給額は、最大で一人あたり月約6万5千円。これを夫婦でもらっても毎月10万円の赤字ですので、国民年金の上乗せ年金として農業者年金に加入しましょう。

農業者年金は、積立方式・確定拠出型で少子高齢時代に強い。

農業者年金は、経営状況や老後の生活設計に応じて、保険料を加入後いつでも月2万円~6万7千円の範囲で、千円単位で変更でき、年払いもできます。また、途中で脱退・再加入もできます。なお、脱退した場合、払った保険料は年金を受給するまで運用し続け、加入期間に関わらず、年金として受給できます。(脱退一時金はありません。)

試算表 農業者年金に加入すれば~ 農業者年金の受給額の試算

加入年齢	納付期間	保険料 納付総額	年金額(年額)		想定される受給総額	
			男性	女性	男性	女性
20歳	40年	960万円	77万円	65万円	1,645万円	1,742万円
30歳	30年	720万円	51万円	43万円	1,092万円	1,156万円
40歳	20年	480万円	30万円	25万円	646万円	684万円
50歳	10年	240万円	13万円	11万円	288万円	305万円

上のケースは、通常加入で保険料月額2万円で加入し、65歳までの運用利回りが2.5%、65歳以降の予定利率が0.35%となった場合の試算です。受給総額は65歳での農業者年金加入者について想定している平均余命を考慮し、男性86.5歳、女性92歳まで生存した場合の金額です。運用利回りは、加入後の経済変動により上下します。制度発足以降の16年間(平成29年度まで)の運用利回りの平均は、年率2.89%です。予定利率は毎年度、農林水産省告示により定められ、令和元年度は0.35%となっています。各金額は単位未満を四捨五入により表示しています。

死亡一時金もあり安心

80歳前に死亡した場合には、80歳までに受け取る農業者老齢年金の現在価値相当額を一時金として遺族が受け取れます。 加入期間等により払込額を下回る場合があります。

ポイント

2の説明

一定の要件を満たす方には、 保険料の国庫補助があります。

認定農業者で青色申告している方やその方と家族経営協定を結んだ配偶者・後継者の方など一定の要件を満たす方には、保険料の国庫補助(月額2万円の保険料のうち最高1万円、通算すると最大で216万円)があります。

この国庫補助は、経営継承など一定の要件を満たせば、将来特例付加年金として受給できます。また、経営継承の時期についての年齢制限はなく、事情に応じて受給の時期を決められます。

ポイント

3の説明

生涯を通じて税制面で大きな優遇措置があります

支払った保険料は、家族の分も含めて全額が社会保険料控除の対象となり、所得税・個人住民税・復興特別所得税が節税になります。(支払った保険料の15%~30%程度が節税)。保険料の運用益が非課税 将来受け取る農業者年金には公的年金等控除が適用されます。死亡一時金は非課税です。

事務経費は国が負担しているため、払った保険料の全額が運用されます。

農業者年金の内容やご相談については、最寄りの農業委員会かJAまたは農業者年金基金にお問い合わせください。

独立行政法人 農業者年金基金

相談員

企画調整室

TEL: 03-3502-3199

TEL: 03-3502-3942

いただきます

越のルビーの甘酢がけ

《材料》（2人分）

- ・越のルビー 6個
- ・玉ねぎ 少々
- { 米酢 大さじ1
- { 蜂蜜 大さじ1
- ・塩 適宜
- ・きゅうり又はハーブ（バジル、パセリ等） 少々



★下準備★

- ・トマトは湯むきする。
- ・玉ねぎはみじん切りにして水にさらし、固く絞る。
- ・玉ねぎと調味料を合わせる。

■作り方■

- ①器にトマトを盛り付けて塩をふる。
- ②玉ねぎソースをかけてきゅうり又はハーブを添える。

トマトは夏バテ防止にも効果があります。暑い日に冷やして食べていただきたい一品です。

レシピ・料理：野路 直美 農地利用最適化推進委員（第6区・文殊地区）

ISEKI DREAM PILOT
有人監視型 ROBOT TRACTOR
T. Japan V

ISEKI
ICT
SOLUTION

ISEKI DREAM PILOT
FEEL THE AGRI

「ISEKI DREAM PILOT」の
技術により、安全性を確保しながら
トラクタでの無人作業ができます。

GNSS衛星

遠隔監視装置
パイロットアイ+

リモコン

位置情報

位置情報

IMU+RTK-GNSS
アンテナ

通信
操作

RTK-GNSS
基地局

井関農機の新商品情報

高品質の新商品が続々ラインナップ。さまざまなお客様のニーズに対応いたします。

株式会社 中セキ北陸 〒910-0813 福井市中新田町第9号5番地
TEL (0776) 54-2500 FAX (0776) 53-5022

農業委員会では、農業委員会だよりを活用して、広告事業に取り組んでいます。
お問い合わせは農業委員会事務局 TEL0776(20)5550・FAX0776(20)5558まで